

■令和5年度計画の要点

◆基本的な考え方

新型コロナウイルスの新種オミクロン株の影響は残っているが、2023年度は、通常経済を取り戻さないといけないためJAGATも通常業務への回帰を積極的に図っていききたい。収束はどうか予測がつかないが、2023年度予算は基本、2022年度予算のスライドで考えている。さらに強い新種コロナ株が出現してどうしようもなくなったときは、その都度事業や経費を抑えるべく毎月修正しながらやっていくしかないという前提で計画している。

2022年度は、秋頃にはコロナも収束すると当初は考えていたが、簡単に消えるものではなく、2023年度は「withコロナ」という考え方で、通常の経済活動をしていくしかないのではないかと考えている。

新型コロナは印刷業界にも多大な影響を与え、印刷業のビジネス内容にも大きな変革をもたらしている。

JAGAT事業に関しては、今までリアルで行っていたイベントはオンラインに移行したが、2023年度はリアルな方が良いイベントはリアルで、開催したい。その最たるものがpage展で、これはオンラインイベントも経験した上での結論である。JAGAT大会は状況が許せばリアルで開催したいと考えているが、地方会員からはオンライン開催の要望も根強く、現在の所、Hybrid開催を前提に計画している。この場合にはビデオや通信設備が充実しているJAGAT本社を最大限活用して、手作りのJAGAT大会を実施したい。JUMPもJAGAT大会オンラインに含めて開催したいと考えているが、近畿大会だけは関西地区会員からの要望も強く、まず近畿大会からリアル開催を再スタートするべく計画している。

JAGAT大会のようなリアルイベントを開催しつつ、会員が気軽にJAGATに遊びに来られる環境も、2023年度中には再開したい。そして「page2024」リアル展については、最悪の事態も考慮しつつpage2023の反省、例えばスポンサーズセッション等は可能な限りリアル開催を前提に実施していきたいと計画している。

●研究調査部

印刷ビジネスについて技術・メディア・市場の観点から、広く印刷産業に貢献すべく継続的な研究調査活動を展開し、研究調査結果は会員を通して広く社会に発信する。令和5年度については特にafterコロナ時代のニューノーマルを見据えた創注に向けて、印刷技術・マーケティング・デジタル印刷・クロスメディア・見える化・サステナビリティを重点テーマとする。

毎月の研究調査の成果は機関誌『JAGAT info』の誌面を通じて会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、JAGAT大会、pageカンファレンス等、様々な機会を通して発信するほか、特定分野の研究成果については適宜、書籍として刊行して業界に提供する。

オンライン配信の長所を生かした全国印刷会社へのさらなる情報配信に取り組む一方、対面による直接コミュニケーションの長所を持つリアルイベントの再開を進める。

●CS部

教育機会の提供を担う部門として、各社の教育計画／教育体系づくりを支援する。業界のトレンドをとらえ、顧客ニーズに基づくセミナー・通信教育・書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施を通じて人材育成、ビジネス拡充に貢献する。

page2024は池袋サンシャインシティ展示会場にてリアル開催を計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントの企画を行うことで来場者増を図っていく。

●西部支社

近畿会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。企業・各種団体との協力、連携をさらに深め、JAGATならではの人材育成メニューを強化する。また、企業ニーズに応える人材育成事業を充実し、社内研修にも対応する。

■研究調査部

●部門方針

印刷の普及・振興・発展を視野に、印刷全般の研究と会員への印刷情報の発信を通して、広く印刷ビジネスの成長に貢献すべく研究調査活動を展開する。研究調査領域は、①技術②メディア③市場から構成して印刷全般をカバー、研究調査の成果は会員への情報発信を通して、広く業界全般に届ける。

毎月の研究調査の成果は、機関誌『JAGAT info』を通して会員に届ける。年間の研究調査の成果は『印刷白書』に集大成する。会員への情報は、月例研究会、会員大会、pageカンファレンス等、オンラインも含めた様々な機会を通じて発信する。

デジタルメディアの加速度的な普及とコロナ禍による価値観の変化に伴い、印刷会社はより広い事業領域への対応を求められるようになってきている。そこで、2023年度の重点テーマは after コロナ時代の創注を見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「サステナビリティ」とする。

当会指導により厚生労働省令の母子健康手帳に採用された「便色カード」サポートの普及啓発活動、大学等での講師活動、印刷会社が発行主体のフリーペーパー調査など、公益法人として積極的な印刷メディアの普及振興活動を継続する。資格試験制度は運営の最適化に向けた見直しを続ける。

●計画の要点・重点目標

- ・研究会活動は after コロナ時代のニューノーマルを見据えた「マーケティング」「デジタル印刷」「クロスメディア」「見える化」「サステナビリティ」を共通の重点とした研究調査とミーティングを企画、展開して情報発信する。
- ・特に以下を重点的な研究調査分野と位置づける。
 - ① マーケティング
 - ② デジタル印刷
 - ③ クロスメディア
 - ④ 見える化
 - ⑤ サステナビリティ（地域活性化・DX・SDGs・CSV）
- ・印刷関連団体（日本印刷産業連合会・全日本印刷工業組合連合会等）への協力。
- ・『印刷産業経営動向調査』『デジタル印刷レポート』『印刷業毎月観測アンケート』『カラーマネジメント技術サポート』など、従来の研究調査・コンサルティングを継続する。
- ・資格試験では、2段階制に移行したDTPエキスパートの認知度向上を図るとともに、より受験しやすい制度に近づける検討を続ける。

◆研究会

- テキスト&グラフィックス領域
- クロスメディア領域
- 印刷マーケット領域

研究領域

1. テキスト&グラフィックス領域

テキスト・組版、グラフィックス・画像に関する技術を基本的な主要研究テーマとし、関連生産技術分野も含めて研究領域とする。印刷・出版分野にとどまらない幅広いテキスト・グラフィックス関連情報を技術視点から研究調査、最新情報を収集・分析・発信する。

2. クロスメディア領域

印刷メディアからデジタルメディアへの横断的な情報コミュニケーション分野全般に関する関連先進技術の動向を基本的な研究領域とする。デジタル技術革新の印刷業界への影響、デジタルと紙を最大効率で組合せて活用するクロスメディア技術の手法について分析する。

3. 印刷マーケット領域

印刷産業・印刷市場・印刷経営・印刷メディア・印刷サステナビリティの5視点から、印刷ビジネスの現状と可能性を客観的に捉える。印刷会社と印刷メディアの持続可能性に資するべく、情報を収集・分析・発信する。

重点テーマ

1. テキスト&グラフィックス領域

デジタル技術によって進化する印刷制作・生産の近未来、デジタル印刷関連の新技术、ロボット化など自動化動向を中心に、カラーマネジメントの動向なども含め、制作環境・印刷生産・工場運営の変化に伴って生まれる技術の評価と応用の可能性について探る。

2. クロスメディア領域

デジタルメディアの印刷ビジネスへの応用、デジタルメディアと印刷メディアの組み合わせによる相乗効果の追求、5GやAIなどの技術革新が印刷メディアビジネスに与える影響について重点にする。

3. 印刷マーケット領域

デジタル時代の印刷会社・印刷メディアの可能性及び、with/afterコロナ時代の印刷ビジネスモデルの構築に重点を置く。印刷会社の経営資源を活用した地域社会の活性化による共生および、デジタルトランスフォーメーションへの対応についてもテーマとする。

*開催テーマ予定

●テキスト&グラフィックス領域/クロスメディア領域/印刷マーケット領域

- ・LEDで変わるカラーマネジメント
- ・プラスαの印刷加工（デジタル加飾、透明・白・蛍光トナー、特殊原反）
- ・トラブル防止に向けた印刷の検査装置と検査体制
- ・RGB印刷に取り組む印刷会社事例
- ・SDGsに向けた工場の省エネルギー化
- ・プリプレスワークフローの現状
- ・ワークフローRIP周辺の一体運用（RGB運用、USMなど）
- ・デジタル印刷のビジネスモデル（サブスク・カタログなど）
- ・デジタルマーケティングとSFA/CRM
- ・多様化する印刷通販ビジネスのポイント
- ・脱炭素へ向けた発注者と印刷会社の方向性
- ・AI活用の実用化分野と事例
- ・2023年度印刷会社の経営分析報告
- ・『印刷白書2023』解説セミナー
- ・チラシメディアの現在と再評価
- ・出版・新聞ビジネスの新展開
- ・印刷産業とサステナビリティ
- ・フリーペーパーと地域メディア
- ・印刷ビジネスの振り返りと次年度予測2023-2024
- ・広告・通販に見る企業と生活者のメディア利活用

◆研究調査事業

- 月刊誌『JAGAT info』の発行（年12回）
 - ・毎号の連載では、「デジタル印刷最前線」「デジ印奏論」「技術トレンド:グラフィックス」「Education」「経営ウォッチング」「マーケティング情報」「キーワード」「ワールド・プリント・サテライト」など印刷産業の周辺関連情報を広く提供する。
 - ・特集と不定期連載では、5号にわたって掲載する『印刷産業経営動向調査（業績編・戦略編・新技術サービス編・設備編・需要編）』のほか、「Recreating the Future」「マーケティング・ナウ」「デザイン・トレンド」など、技術・教育・メディア・経営・海外など多面的な視点からタイムリーなトピックを取り上げる。
- 『印刷白書2023』（年1回）
 - ・印刷業界唯一の白書として、年間の研究調査活動を集大成して制作する。
- 『デジタル印刷レポート2023』
 - ・『JAGAT info』に掲載した事例に書き下ろしを加えてレポートを発刊する。
- 第45回『印刷産業経営動向調査2023』
 - ・調査の設計と実施
 - ・調査結果の集計・分析
 - ・分析レポートのJAGAT infoへの掲載（7～11月号）
 - ・回答社への分析結果フィードバック（9月中旬）
 - ・報告会（9月下旬）
 - ・報告書の制作・刊行（10月上旬）
- 『印刷業毎月観測アンケート』
 - ・業況に関する調査・集計・分析・調査結果のフィードバックとJAGAT infoへの掲載
- 『印刷会社のフリーペーパー調査』
 - ・調査・集計・分析
 - ・調査結果のフィードバック
 - ・『page2024』会場での作品展示を通じた印刷物の普及啓蒙活動
 - ・印刷総合研究会での報告会
- デジタル印刷事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 地域活性ビジネス事例調査
 - ・実地調査とレポート作成
 - ・JAGAT infoへの掲載
- 印刷関連団体への協力・委員派遣
 - ・日本印刷産業連合会
 - ・全日本印刷工業組合連合会
 - ・東京都印刷工業組合等
 - ・日本印刷学会
 - ・日本写真学会
 - ・日本出版学会
 - ・一般財団法人経済調査会
- 印刷振興のための講師派遣・講座開発提供
 - ・日本大学
 - ・群馬大学
- 印刷会社の見える化
 - ・印刷会社の経営改善に向けた啓発、支援、組織化、コンサルティング等

- トピック技術セミナー
 - ・2023年の印刷関連注目技術を集約して開催
- page2024カンファレンス
 - ・基調講演・グラフィックス・マーケティング・クロスメディアの4カテゴリからなる6カンファレンスを開催する。
- 印刷標準・カラーマネジメントサポート
 - ・印刷会社及び印刷発注者への助言とコンサルティング
- 新生児向け予防医療支援「便色カード」
 - ・カラーマネジメント技術を提供して母子健康手帳「便色カード」制作を全面支援
- XMLパブリッシング準研究会の開催
 - ・XML技術による編集組版・オンデマンド出版・電子書籍をテーマとする研究会の運営
- コンサルティング（適宜）
 - ・カラーマネジメント分野
 - ・クロスメディア分野
 - ・企業経営分野
 - ・その他

◆資格制度

*計 画

- ・2022年12月に発行したDTPエキスパートカリキュラム第15版に基づき、ビジネスを生み出す印刷人材育成のための教育制度として活用を広げるべく、「コミュニケーションと印刷ビジネス」を一つの柱として再編を進める。
コンテンツ発信をはじめとした活動にて普及推進を図る。
- ・本試験受験環境を整えるため、リモート形式の受験形態について調査、検討を行う。
- ・模擬試験、通信講座、実技用教材については、既存形式に捉われず、より受講者の実態に即した柔軟な運用（オンライン化、小冊子販売等）を検討、調整する。
- ・有資格者に対し、資格者専用サイト上での限定コンテンツ発信を充実させ、更新率維持につながるよう努める。

■CS 部

●部門方針

- ・page2024 展示会はリアル開催に向けて計画していく。来場者が安心安全に来場できる環境づくりと、印刷業界の最新トレンド情報を得やすい出展ブース、イベントを企画を行うことで来場者増を図っていく。
- ・教育サービスは、各社の教育計画／教育体系づくりを支援しつつ、セミナー、通信教育、コンサルティング、書籍発行等の企画、プロモーション、運営実施をニーズに応えるようタイムリーに効率よく実行していく。
- ・公益法人として、印刷および関連企業は勿論、クライアント（印刷発注側企業）の課題解決も視野に入れたメディアづくりなど、JAGAT ならではの企画、コンテンツにより、他との差別化、付加価値向上を目指す。

●計画の要点・重点目標

- ・page は総力を上げてリアル展の開催に向けて計画していく。コロナ禍でスポンサー企業の広告投資についてより費用対効果が求められることを考慮し、宣伝効果の高い page 展の企画の充実化に注力する。
- ・教育商品の主体であるセミナーは、オンラインライブ配信セミナーの開催に加え、いつでも繰り返し学習ができるオンデマンドセミナーの拡充も計画する。全都道府県の印刷関連企業が受講しやすい環境と機会をつくる。

◆会 員

会員メリットの高い大型セミナーや page 出展等を訴求していくことで、会員拡大を図る。

*計 画

入会 10 社（再入会 2 社）：page6 社、セミナー2 社、西部支社・その他 2 社

◆交流イベント／サービス

●JAGAT大会

会員大会＝JAGAT 大会 2023 は、コロナの状況、会員の利便性等を鑑みながら、開催方式をリアルあるいはオンラインの方向性を模索する。（リアル開催の場合は、『印刷白書 2023』発表の場とする。）

*計 画 参加 250 名（リアル開催の場合は 150 名）

●JAGAT地域大会（JUMP）

地域大会＝JAGAT 地域大会は、JAGAT 近畿大会はリアル開催を予定、他の地域は JAGAT 大会 2023 オンラインと集約する形で計画。

*計 画

※オンラインで 1 回開催予定

◆page／イベント

2023年度はIGAS2022とdrupa2024の開催年度の狭間にあたり、機器メーカーなどのPRの機会は例年よりも少なくなることが予想される。それとともに来場者にとっても、複数の大型イベントが連続して実施されることによる「展示会疲れ」は無くなり、来場も見込める。page2024をしっかりと実施することで、出展企業と来場者双方にメリットがあり、印刷業界の活性化させるイベントを構築していく。

*計 画

展示小間数 500小間以上 (出展社 概ね120社以上)

page2024においてはリアル展示会の規模や盛り上がりをコロナ前の状況に極力戻すべく、通期の事業展開を図り、JAGATのあらゆる事業とpage2024の浸透・PRを結び付けて、JAGATへの入会促進を行うとともに、収益事業として予算達成を目指す。さらに来場者目線に立ったクオリティアップを行い、イベントの価値向上によって業界全体の活性化に寄与すべく、様々な企画を検討する。

◆広 告

昨年度のJAGATinfoカラー化に伴う、広告プログラムの変更により、一定数の新規広告出稿の獲得は出来た。しかし広告出稿は通年での計画であるため、年度途中の変更に対応できない企業は多かった。今年度は、スポンサー企業の広告予算の見直しは十二分に予想されるが、JAGATinfoのメディアとしての価値を見直し、出稿強化を図る。また昨年度、page2023における出展企業の小間減に伴い、広告売上は減少したが、メルマガ広告やセミナー集客運営サポートといった新たな企業支援による発注を得ることが出来た。この実績を活かし、単なるメディアへの広告出稿にとらわれない施策を講じる。

*計 画

広告枠 Ji誌 70本以上(企画広告6本以上を含む)、不定期媒体などの広告枠 10本以上

◆通信教育

JAGATの通信教育は、唯一業界に特化した講座を提供できるという強みをもつ。特定時間の拘束や場所・距離といった制約を受けないというメリットとともに、これを広くアピールしていく。中堅規模の企業開拓、そのための内定者教育としての「新入社員コース」のプロモーションや短期受講型の新講座開発、セミナーとの連携を図る。

*計 画

JAGAT : 14講座+受託販売講座 : 22講座 600名受講

- ・「新入社員コース」をテキスト+動画のカリキュラムにリニューアル。セミナーと新人向け学び放題講座と連携して販売の拡充を図る
- ・「印刷技術・基本コース」のフォローアップ教育としての提案
- ・既存大口受注企業の継続受注。
- ・企業の教育体系の構築によるセミナーと合わせて受注。

◆刊行物

JAGAT の情報発信ツールとしてのパブリッシングを継続していく。

『みんなの印刷入門』『オフセット印刷技術』『トラブル解決』等の印刷業界基本図書のテキスト採用等による販売維持。受験促進も含め、主催資格の対策参考書の販売。『印刷白書』『経営動向調査』といったコアな統計情報、『デジタル印刷レポート』等各種レポート類の発行、拡販を通じて公益事業体としてのパブリッシング、コンテンツ発信に努める。

*計 画

JAGAT 発行 15 点＋受託販売 合計 2,000 冊＋page 販売

- ・基本図書『みんなの印刷入門』及び『新版 DTP ベーシックガイダンス』のプロモーション
- ・『DTP エキスパート受験サポートガイド』受験促進に合わせた PR

◆セミナー事業

印刷技術から営業、マーケティング、デザインまで印刷業界に特化した内容でセミナーを展開していく。また、受講者の教育効果を追求するために、グループワークを取り入れての実践型セミナーも強化していく。

*計 画

定期プログラム 45 講座を準備し年間 90 回開催、総受講者数 800 名を予定する。

- ・新入社員向け研修は 2022 年にリニューアルした、ライブ&オンデマンドによるハイブリッド配信による学び放題サービスの販売拡大を図る
- ・大型ゼミの販売拡充（工場長養成講座、DM 企画制作講座）
- ・大型ゼミの新テーマ「印刷機長養成講座」の企画開発を行う
- ・全国都道府県の方の参加利便性を高めるため、オンラインライブ配信型セミナーにシフトする
- ・繰り返し学習できるオンデマンド配信セミナーを拡充する
- ・講師の発掘及び新規セミナーの開発
- ・生産性向上訓練の受託
- ・個別企業への講師派遣研修の拡充

■西部支社

*方針⇒支社としての役割の充実

- ・会員および幅広い企業・団体・個人に対し、印刷関連の情報発信、人材育成等を行うことにより、それぞれの発展に貢献する。
- ・印刷および関連団体との協力関係をより強化し、情報交換および人材育成の機会を創出する。

*計画

- ・セミナー45本（生産性支援訓練10本）開催、470名の受講を計画する。
- ・新型コロナウイルス感染防止を考慮のうえ、セミナーのリアル開催を拡充する。
- ・本社と連携しオンライン配信講座（社内研修を含む）の充実を図る。
- ・西部支社から近畿地域への入会促進および各種情報発信（JAGAT近畿大会）を実施する。

■管理部

*計画

- ・老朽化する施設設備の適切なメンテナンス。
- ・インボイス制度・電子帳簿保存法への対応。
- ・遊休資産の適正な活用と社内環境整備。
- ・万全な新型コロナウイルス感染防止対策の継続。
- ・適正な人材補充。